

四 半 期 報 告 書

(第3期第1四半期) 自 2018年4月1日
至 2018年6月30日

株式会社 めぶきフィナンシャルグループ

(E30103)

第3期第1四半期（自2018年4月1日 至2018年6月30日）

四 半 期 報 告 書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付した四半期ビュー報告書及び四半期報告書と併せて提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

株式会社 めぶきフィナンシャルグループ

目 次

第3期第1四半期 四半期報告書

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	2
第2 【事業の状況】	3
1 【事業等のリスク】	3
2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	3
3 【経営上の重要な契約等】	6
第3 【提出会社の状況】	7
1 【株式等の状況】	7
2 【役員の状況】	7
第4 【経理の状況】	8
1 【四半期連結財務諸表】	9
2 【その他】	16
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	17
四半期レビュー報告書	巻末
確認書	巻末

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2018年8月9日

【四半期会計期間】 第3期第1四半期(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

【会社名】 株式会社めぶきフィナンシャルグループ

【英訳名】 Mebuki Financial Group, Inc.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 笹島 律夫

【本店の所在の場所】 東京都中央区八重洲二丁目7番2号

【電話番号】 (03)3241-2501 (代表)

【事務連絡者氏名】 経営企画部統括部長 小野 利彦

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区八重洲二丁目7番2号

【電話番号】 (03)3241-2501 (代表)

【事務連絡者氏名】 東京事務所長 関 敏幸

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

		2017年度	2018年度	2017年度
		第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
経常収益	百万円	63,758	77,967	262,373
経常利益	百万円	17,976	19,004	63,521
親会社株主に帰属する 四半期純利益	百万円	12,063	13,477	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円	—	—	43,069
四半期包括利益	百万円	18,770	17,823	—
包括利益	百万円	—	—	39,114
純資産額	百万円	874,202	897,396	888,139
総資産額	百万円	16,454,991	16,939,231	16,769,883
1株当たり四半期純利益	円	10.24	11.46	—
1株当たり当期純利益	円	—	—	36.56
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	円	10.23	11.45	—
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	円	—	—	36.54
自己資本比率	%	5.31	5.29	5.29

(注) 1. 当社及び国内連結子会社の消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 自己資本比率は、((四半期)期末純資産の部合計－(四半期)期末新株予約権－(四半期)期末非支配株主持分)を(四半期)期末資産の部の合計で除して算出しております。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容については、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても、異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当社及び連結子会社の「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

以下の記載における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当社グループは、銀行業務を中心とした総合金融サービスを提供しております。なお、当社グループが営む銀行業務以外の事業については重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

① 経営成績

当社グループにおける当第1四半期連結累計期間の損益の状況は以下のとおりです。

資金利益は、有価証券利息配当金の増加により、前年同期比23億29百万円（6.2%）の増加となる398億15百万円となりました。また、役員取引等利益は、「総合金融サービスの拡充」に取り組むなか、預り資産販売の強化やコンサルティング営業の強化により、前年同期比7億91百万円（8.5%）の増加となる100億93百万円となりました。

一方で、海外の金利情勢を見据えた有価証券ポートフォリオの入替に伴い外国債券の売却損を計上したこと等により、その他業務利益が前年同期比65億15百万円減少したことから、連結粗利益は前年同期比34億80百万円（7.2%）の減少となる445億78百万円となりました。

経常利益は、与信関係費用が前年同期比29億78百万円増加したものの、ETF等による売却益確保により株式等関係損益が前年同期比70億43百万円増加したことなどから、前年同期比10億28百万円（5.7%）の増加となる190億4百万円となりました。

以上により、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比14億14百万円（11.7%）の増加となる134億77百万円となりました。

（単位：百万円）

区分	前第1四半期連結累計期間 (A)	当第1四半期連結累計期間 (B)	増減 (B-A)
連結粗利益 (注)	48,059	44,578	△3,480
資金利益	37,486	39,815	2,329
役員取引等利益	9,301	10,093	791
特定取引利益	684	598	△86
その他業務利益	587	△5,928	△6,515
営業経費	30,588	30,392	△195
与信関係費用	1,099	4,077	2,978
貸出金償却	1,035	1,901	865
個別貸倒引当金繰入額	595	3,012	2,417
一般貸倒引当金繰入額	△301	△1,980	△1,679
その他の与信関係費用	△230	1,143	1,374
株式等関係損益	1,067	8,110	7,043
その他	536	785	248
経常利益	17,976	19,004	1,028
特別損益	△604	△99	504
税金等調整前四半期純利益	17,371	18,904	1,532
法人税、住民税及び事業税	4,371	5,323	952
法人税等調整額	937	102	△834
四半期純利益	12,063	13,477	1,414
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,063	13,477	1,414

(注) 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役員取引等収益 + 信託報酬 - 役員取引等費用) + (特定取引収益 - 特定取引費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

② 財政状態

当第1四半期連結会計期間末の預金等（譲渡性預金を含む）の残高は、当社の第1次グループ中期経営計画の基本戦略である「総合金融サービスの拡充」、「エリア・チャネルの拡充」への取り組み等により、法人・個人預金を中心に前年度末比2,835億円（1.9%）の増加となる14兆5,341億円（うち預金は14兆1,141億円）となりました。

また、貸出金の残高は、公共向け貸出金の減少を主因として、前年度末比959億円（0.9%）の減少となる、10兆4,019億円となりました。

一方、有価証券の残高は、投資信託や外国債券等への投資を継続し、前年度末比861億円（2.0%）の増加となる4兆2,629億円となりました。

（単位：百万円）

主要勘定の残高	前連結会計年度末 (A)	当第1四半期連結会計期間末 (B)	増減 (B-A)
預金等	14,250,553	14,534,114	283,561
うち預金	13,977,912	14,114,176	136,263
貸出金	10,497,976	10,401,982	△95,993
有価証券	4,176,768	4,262,929	86,160

なお、当第1四半期連結会計期間末における連結ベースのリスク管理債権残高は、1,834億円で、前年度末比10億円減少となりました。

（単位：百万円）

リスク管理債権残高 (総貸出金残高に占める割合)	前連結会計年度末 (A)	当第1四半期連結会計期間末 (B)	増減 (B-A)
リスク管理債権残高合計	184,479	183,464	△1,014
破綻先債権額	4,437	4,072	△365
延滞債権額	142,266	142,222	△43
3ヵ月以上延滞債権額	426	367	△59
貸出条件緩和債権額	37,348	36,802	△546

(参考)

国内・国際業務部門別収支

資金運用収支は、国内業務部門で380億12百万円、国際業務部門で17億96百万円、全体では398億15百万円となりました。役務取引等収支は、国内業務部門で112億93百万円、国際業務部門で15百万円、全体では100億81百万円となりました。特定取引収支は、5億98百万円となりました。その他業務収支は、△59億28百万円となりました。

種類	期別	国内業務部門	国際業務部門	相殺消去額	合計
		金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
資金運用収支	前第1四半期連結累計期間	35,813	1,664	8	37,486
	当第1四半期連結累計期間	38,012	1,796	6	39,815
うち資金運用収益	前第1四半期連結累計期間	36,858	4,110	△215	40,752
	当第1四半期連結累計期間	38,805	5,065	△205	43,664
うち資金調達費用	前第1四半期連結累計期間	1,044	2,446	△223	3,266
	当第1四半期連結累計期間	792	3,268	△212	3,849
信託報酬	前第1四半期連結累計期間	11	—	—	11
	当第1四半期連結累計期間	11	—	—	11
役務取引等収支	前第1四半期連結累計期間	10,535	18	△1,263	9,290
	当第1四半期連結累計期間	11,293	15	△1,227	10,081
うち役務取引等収益	前第1四半期連結累計期間	13,093	172	△1,706	11,559
	当第1四半期連結累計期間	14,010	179	△1,709	12,479
うち役務取引等費用	前第1四半期連結累計期間	2,558	153	△443	2,268
	当第1四半期連結累計期間	2,716	163	△482	2,397
特定取引収支	前第1四半期連結累計期間	177	506	—	684
	当第1四半期連結累計期間	46	551	—	598
うち特定取引収益	前第1四半期連結累計期間	177	506	—	684
	当第1四半期連結累計期間	46	551	—	598
うち特定取引費用	前第1四半期連結累計期間	—	—	—	—
	当第1四半期連結累計期間	—	—	—	—
その他業務収支	前第1四半期連結累計期間	473	172	△58	587
	当第1四半期連結累計期間	△1,492	△4,380	△55	△5,928
うちその他業務収益	前第1四半期連結累計期間	570	770	△58	1,283
	当第1四半期連結累計期間	175	750	△55	869
うちその他業務費用	前第1四半期連結累計期間	97	598	—	696
	当第1四半期連結累計期間	1,667	5,131	△0	6,798

(注) 1. 「国内」「海外」の区分に替えて、「国内業務部門」「国際業務部門」で区分しております。

国内業務部門は当社及び連結子会社の円建取引、国際業務部門は当社及び連結子会社の外貨建取引であります。ただし、円建対非居住者取引及び特別国際金融取引勘定分等は国際業務部門に含めております。

2. 相殺消去額は、連結会社間の相殺消去額及び国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借利息を計上しております。

国内・国際業務部門別役員取引の状況

役員取引等収益は、国内業務部門が140億10百万円、国際業務部門が1億79百万円となり、合計で124億79百万円となりました。
一方、役員取引等費用は、国内業務部門が27億16百万円、国際業務部門が1億63百万円となり、合計で23億97百万円となりました。

種類	期別	国内業務部門	国際業務部門	相殺消去額	合計
		金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
役員取引等収益	前第1四半期連結累計期間	13,093	172	△1,706	11,559
	当第1四半期連結累計期間	14,010	179	△1,709	12,479
うち預金・貸出業務	前第1四半期連結累計期間	2,868	—	△8	2,859
	当第1四半期連結累計期間	3,022	—	△6	3,016
うち為替業務	前第1四半期連結累計期間	2,719	76	△28	2,766
	当第1四半期連結累計期間	2,635	76	△29	2,682
うち信託関連業務	前第1四半期連結累計期間	—	—	—	—
	当第1四半期連結累計期間	—	—	—	—
うち証券関連業務	前第1四半期連結累計期間	2,007	2	△70	1,939
	当第1四半期連結累計期間	1,966	4	△127	1,843
うち代理業務	前第1四半期連結累計期間	978	—	△0	978
	当第1四半期連結累計期間	1,428	—	△0	1,428
うち保護預り・貸金庫業務	前第1四半期連結累計期間	325	—	△0	325
	当第1四半期連結累計期間	299	—	△0	299
うち保証業務	前第1四半期連結累計期間	1,296	89	△376	1,009
	当第1四半期連結累計期間	1,324	90	△387	1,028
役員取引等費用	前第1四半期連結累計期間	2,558	153	△443	2,268
	当第1四半期連結累計期間	2,716	163	△482	2,397
うち為替業務	前第1四半期連結累計期間	517	11	△18	510
	当第1四半期連結累計期間	537	14	△19	532

- (注) 1. 国内業務部門は当社及び連結子会社の円建取引、国際業務部門は当社及び連結子会社の外貨建取引であります。ただし、円建対非居住者取引及び特別国際金融取引勘定分等は国際業務部門に含めております。
2. 相殺消去額は、連結会社間の相殺消去額を計上しております。

国内・国際業務部門別特定取引の状況

特定取引収益は、国内業務部門で商品有価証券収益に14百万円、特定金融派生商品収益に32百万円、その他の特定取引収益に△0百万円、国際業務部門で商品有価証券収益に5億51百万円計上いたしました。特定取引費用は、ありません。

種類	期別	国内業務部門	国際業務部門	相殺消去額	合計
		金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
特定取引収益	前第1四半期連結累計期間	177	506	—	684
	当第1四半期連結累計期間	46	551	—	598
うち商品有価証券収益	前第1四半期連結累計期間	△1	506	—	505
	当第1四半期連結累計期間	14	551	—	566
うち特定取引有価証券収益	前第1四半期連結累計期間	—	—	—	—
	当第1四半期連結累計期間	—	—	—	—
うち特定金融派生商品収益	前第1四半期連結累計期間	178	—	—	178
	当第1四半期連結累計期間	32	—	—	32
うちその他の特定取引収益	前第1四半期連結累計期間	—	—	—	—
	当第1四半期連結累計期間	△0	—	—	△0
特定取引費用	前第1四半期連結累計期間	—	—	—	—
	当第1四半期連結累計期間	—	—	—	—
うち商品有価証券費用	前第1四半期連結累計期間	—	—	—	—
	当第1四半期連結累計期間	—	—	—	—
うち特定取引有価証券費用	前第1四半期連結累計期間	—	—	—	—
	当第1四半期連結累計期間	—	—	—	—
うち特定金融派生商品費用	前第1四半期連結累計期間	—	—	—	—
	当第1四半期連結累計期間	—	—	—	—
うちその他の特定取引費用	前第1四半期連結累計期間	—	—	—	—
	当第1四半期連結累計期間	—	—	—	—

- (注) 1. 国内業務部門は、当社及び連結子会社の円建取引、国際業務部門は当社及び連結子会社の外貨建取引であります。ただし、円建対非居住者取引及び特別国際金融取引勘定分等は国際業務部門に含めております。
2. 相殺消去額は、連結会社間の相殺消去額を計上しております。

国内・国際業務部門別預金残高の状況

○ 預金の種類別残高(未残)

種類	期別	国内業務部門	国際業務部門	相殺消去額	合計
		金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
預金合計	前第1四半期連結会計期間	13,563,381	178,197	△65,999	13,675,579
	当第1四半期連結会計期間	13,885,431	295,176	△66,430	14,114,176
うち流動性預金	前第1四半期連結会計期間	9,102,175	—	△32,018	9,070,156
	当第1四半期連結会計期間	9,604,574	—	△32,194	9,572,380
うち定期性預金	前第1四半期連結会計期間	4,347,717	—	△310	4,347,407
	当第1四半期連結会計期間	4,220,777	—	△310	4,220,467
うちその他	前第1四半期連結会計期間	113,487	178,197	△33,670	258,015
	当第1四半期連結会計期間	60,079	295,176	△33,926	321,328
譲渡性預金	前第1四半期連結会計期間	411,978	—	△61,850	350,128
	当第1四半期連結会計期間	483,988	—	△64,050	419,938
総合計	前第1四半期連結会計期間	13,975,359	178,197	△127,849	14,025,707
	当第1四半期連結会計期間	14,369,419	295,176	△130,480	14,534,114

(注) 1. 流動性預金＝当座預金＋普通預金＋貯蓄預金＋通知預金

2. 定期性預金＝定期預金＋定期積金

3. 国内業務部門は当社及び連結子会社の円建取引、国際業務部門は当社及び連結子会社の外貨建取引であります。ただし、円建対非居住者取引及び特別国際金融取引勘定等は国際業務部門に含めております。

4. 相殺消去額は、連結会社間の相殺消去額を計上しております。

国内・国際業務部門別貸出金残高の状況

○ 業種別貸出状況(未残・構成比)

業種別	前第1四半期連結会計期間		当第1四半期連結会計期間	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
国内(除く特別国際金融取引勘定分)	10,179,016	100.00	10,401,982	100.00
製造業	1,193,890	11.73	1,186,850	11.41
農業、林業	29,103	0.29	30,215	0.29
漁業	4,346	0.04	3,282	0.03
鉱業、採石業、砂利採取業	14,756	0.15	10,655	0.10
建設業	293,636	2.88	301,164	2.90
電気・ガス・熱供給・水道業	114,373	1.12	153,197	1.47
情報通信業	51,470	0.51	45,660	0.44
運輸業、郵便業	260,458	2.56	273,907	2.63
卸売業、小売業	996,691	9.79	1,018,644	9.79
金融業、保険業	299,668	2.94	324,208	3.12
不動産業、物品賃貸業	1,711,941	16.82	1,804,676	17.35
医療・福祉等サービス業	677,222	6.65	634,977	6.11
国・地方公共団体	1,173,685	11.53	1,075,378	10.34
その他	3,357,772	32.99	3,539,162	34.02
特別国際金融取引勘定分	—	—	—	—
政府等	—	—	—	—
金融機関	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
合計	10,179,016	—	10,401,982	—

(注) 「国内」とは、当社及び連結子会社であります。

(2) 経営方針・経営戦略等、経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等、事業上及び財務上の対処すべき課題
当第1四半期連結結果計期間において、重要な変更及び新たに定めた事項はありません。

(3) 研究開発活動
該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	3,000,000,000
計	3,000,000,000

② 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2018年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2018年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	1,179,055,218	同左	東京証券取引所 (市場第一部)	完全議決権であり、権利内容に何ら限定のない標準となる株式。 単元株式数は100株
計	1,179,055,218	同左	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

① 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

② 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2018年4月1日～ 2018年6月30日	—	1,179,055	—	117,495	—	25,276

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2018年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	2018年3月31日現在 内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,183,100	—	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,176,753,800	11,767,538	同上
単元未満株式	普通株式 1,118,318	—	1単元(100株)未満の普通株式
発行済株式総数	1,179,055,218	—	—
総株主の議決権	—	11,767,538	—

(注) 上記の「完全議決権株式(その他)」及び「単元未満株式」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が、それぞれ3,200株及び76株含まれております。また、「議決権の数」の欄に、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数が32個含まれております。

② 【自己株式等】

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社めぶきフィナンシャル グループ	東京都中央区八重洲2丁目7番 2号	1,183,100	—	1,183,100	0.10
計	—	1,183,100	—	1,183,100	0.10

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1. 当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しておりますが、資産及び負債の分類並びに収益及び費用の分類は、「銀行法施行規則」(1982年大蔵省令第10号)に準拠しております。
2. 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)及び第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツの四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
現金預け金	1,708,734	1,840,082
コールローン及び買入手形	14,636	24,595
買入金銭債権	15,388	15,359
特定取引資産	12,539	14,638
有価証券	※2 4,176,768	※2 4,262,929
貸出金	※1 10,497,976	※1 10,401,982
外国為替	6,416	7,944
リース債権及びリース投資資産	56,620	57,238
その他資産	187,737	219,840
有形固定資産	115,146	114,444
無形固定資産	14,801	15,376
退職給付に係る資産	15,428	16,434
繰延税金資産	2,119	2,260
支払承諾見返	24,902	24,753
貸倒引当金	△79,324	△78,640
投資損失引当金	△9	△9
資産の部合計	16,769,883	16,939,231
負債の部		
預金	13,977,912	14,114,176
譲渡性預金	272,640	419,938
コールマネー及び売渡手形	340,540	110,007
売現先勘定	26,314	45,112
債券貸借取引受入担保金	158,149	260,687
特定取引負債	504	518
借入金	877,856	848,491
外国為替	708	831
社債	5,000	5,000
新株予約権付社債	31,881	33,162
信託勘定借	11	3
その他負債	114,060	125,363
役員賞与引当金	129	—
退職給付に係る負債	6,014	5,911
役員退職慰労引当金	63	44
睡眠預金払戻損失引当金	3,781	3,637
偶発損失引当金	1,603	2,513
ポイント引当金	294	271
利息返還損失引当金	13	13
特別法上の引当金	2	2
繰延税金負債	28,789	30,875
再評価に係る繰延税金負債	9,226	9,215
負ののれん	1,343	1,303
支払承諾	24,902	24,753
負債の部合計	15,881,743	16,041,834

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
資本金	117,495	117,495
資本剰余金	148,541	148,545
利益剰余金	489,697	496,721
自己株式	△8	△2,026
株主資本合計	755,725	760,735
その他有価証券評価差額金	120,727	124,958
繰延ヘッジ損益	△56	△195
土地再評価差額金	14,182	14,157
退職給付に係る調整累計額	△2,656	△2,401
その他の包括利益累計額合計	132,197	136,519
新株予約権	216	141
純資産の部合計	888,139	897,396
負債及び純資産の部合計	16,769,883	16,939,231

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
経常収益	63,758	77,967
資金運用収益	40,752	43,664
(うち貸出金利息)	28,442	28,322
(うち有価証券利息配当金)	12,004	15,012
信託報酬	11	11
役務取引等収益	11,559	12,479
特定取引収益	684	598
その他業務収益	1,283	869
その他経常収益	※1 9,467	※1 20,343
経常費用	45,782	58,962
資金調達費用	3,266	3,849
(うち預金利息)	675	1,339
役務取引等費用	2,268	2,397
その他業務費用	696	6,798
営業経費	30,588	30,392
その他経常費用	※2 8,962	※2 15,524
経常利益	17,976	19,004
特別利益	0	52
固定資産処分益	0	52
特別損失	604	152
固定資産処分損	49	33
減損損失	555	119
税金等調整前四半期純利益	17,371	18,904
法人税、住民税及び事業税	4,371	5,323
法人税等調整額	937	102
法人税等合計	5,308	5,426
四半期純利益	12,063	13,477
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,063	13,477

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	12,063	13,477
その他の包括利益	6,707	4,346
その他有価証券評価差額金	6,035	4,230
繰延ヘッジ損益	158	△139
退職給付に係る調整額	513	254
四半期包括利益	18,770	17,823
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,770	17,823

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

※1. 貸出金のうち、リスク管理債権は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
破綻先債権額	4,437百万円	4,072百万円
延滞債権額	142,266百万円	142,222百万円
3ヵ月以上延滞債権額	426百万円	367百万円
貸出条件緩和債権額	37,348百万円	36,802百万円
合計額	184,479百万円	183,464百万円

なお、上記債権額は、貸倒引当金控除前の金額であります。

※2. 「有価証券」中の社債のうち、有価証券の私募(金融商品取引法第2条第3項)による社債に対する保証債務の額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
	143,712百万円	151,199百万円

(四半期連結損益計算書関係)

※1. その他経常収益には、次のものを含んでおります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
株式等売却益	2,655百万円	13,106百万円
償却債権取立益	450百万円	340百万円

※2. その他経常費用には、次のものを含んでおります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
株式等売却損	1,587百万円	4,995百万円
貸出金償却	1,035百万円	1,901百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
減価償却費	2,121百万円	2,179百万円
負ののれんの償却額	39百万円	39百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2017年5月12日 取締役会	普通株式	7,655	6.5	2017年3月31日	2017年6月5日	利益剰余金

(注) 上記1株当たり配当額のうち、1円は経営統合記念配当であります。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月11日 取締役会	普通株式	6,478	5.5	2018年3月31日	2018年6月4日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、銀行業務を中心とした総合的な金融サービスを提供しております。また、当社の取締役会や経営会議は、グループにおける経営資源の配分を決定し、業績を評価しております。なお、当社グループが営む銀行業務以外の事業については重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

(有価証券関係)

※1. 企業集団の事業の運営において重要なものであるため記載しております。

※2. 四半期連結貸借対照表の「有価証券」のほか、「買入金銭債権」中の信託受益権を含めて記載しております。

1. 満期保有目的の債券

前連結会計年度(2018年3月31日)

	連結貸借対照表計上額 (百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
債券	154,787	154,920	133
国債	86,960	86,510	△449
地方債	399	400	0
社債	67,427	68,009	582
その他	—	—	—
外国債券	—	—	—
その他	—	—	—
合計	154,787	154,920	133

当第1四半期連結会計期間(2018年6月30日)

	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
債券	159,035	159,308	273
国債	86,699	86,354	△345
地方債	399	400	0
社債	71,935	72,554	618
その他	—	—	—
外国債券	—	—	—
その他	—	—	—
合計	159,035	159,308	273

2. その他有価証券

前連結会計年度(2018年3月31日)

	取得原価(百万円)	連結貸借対照表 計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	150,542	307,890	157,347
債券	2,203,100	2,219,550	16,449
国債	757,168	764,614	7,446
地方債	793,365	795,183	1,818
社債	652,566	659,752	7,185
その他	1,480,037	1,477,852	△2,184
外国債券	628,613	616,551	△12,062
その他	851,423	861,301	9,877
合計	3,833,680	4,005,292	171,612

当第1四半期連結会計期間(2018年6月30日)

	取得原価(百万円)	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	147,989	308,940	160,951
債券	2,210,282	2,226,025	15,743
国債	731,649	738,240	6,590
地方債	813,309	815,535	2,226
社債	665,323	672,249	6,926
その他	1,549,793	1,550,602	808
外国債券	693,140	681,888	△11,251
その他	856,652	868,713	12,060
合計	3,908,064	4,085,568	177,503

(注) その他有価証券のうち、当該有価証券の時価が取得原価に比べて著しく下落しており、時価が取得原価まで回復する見込みがあると認められないものについては、当該時価をもって四半期連結貸借対照表計上額(連結貸借対照表計上額)とするとともに、評価差額を当第1四半期連結累計期間(連結会計年度)の損失として処理(以下、「減損処理」という。)することとしております。

前連結会計年度及び当第1四半期連結累計期間における減損処理額はありません。

また、時価が「著しく下落した」と判断するための基準は、「金融商品会計に関する実務指針」(日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号 2015年4月14日)の趣旨に基づき、当第1四半期連結会計期間末(連結会計年度末)における時価が取得原価に比べ30%以上下落した場合等としております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

		前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	円	10.24	11.46
(算定上の基礎)			
親会社株主に帰属する四半期純利益	百万円	12,063	13,477
普通株主に帰属しない金額	百万円	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益	百万円	12,063	13,477
普通株式の期中平均株式数	千株	1,177,753	1,175,898
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	円	10.23	11.45
(算定上の基礎)			
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額	百万円	—	—
普通株式増加数	千株	504	575
うち新株予約権	千株	504	575
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

期末配当

2018年5月11日開催の取締役会において、当社の期末配当につき次のとおり決議しました。

期末配当金額 6,478百万円
1株当たりの期末配当金 5円50銭

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

第1 【保証会社情報】

1 【保証の対象となっている社債】

社債の名称	保証会社	発行年月日	券面総額 (千円)	償還額 (千円)	当四半期会計期間 末日現在の未償還額 (千円)	上場金融商品 取引所
めぶきフィナンシャルグループ 2019年満期ユーロ米ドル建取得 条項付転換社債型新株予約権付 社債	株式会社常陽銀行	2016年 10月1日	300,000	—	300,000	—

2 【継続開示会社たる保証会社に関する事項】

(1) 【保証会社が提出した書類】

① 【有価証券報告書及びその添付書類又は四半期報告書若しくは半期報告書】

有価証券報告書	事業年度	自 2017年4月1日	2018年6月28日
及びその添付書類	(127期)	至 2018年3月31日	関東財務局長に提出

② 【臨時報告書】

該当事項はありません。

(2) 【上記書類を縦覧に供している場所】

株式会社常陽銀行 本店
(茨城県水戸市南町二丁目5番5号)
株式会社常陽銀行 東京営業部
(東京都中央区八重洲二丁目7番2号)

3 【継続開示会社に該当しない保証会社に関する事項】

該当事項はありません。

第2 【保証会社以外の会社の情報】

該当事項はありません。

第3 【指数等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2018年8月7日

株式会社 めぶきフィナンシャルグループ
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 木村 充 男 ㊞

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山口 圭 介 ㊞

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鶴見 将 史 ㊞

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社めぶきフィナンシャルグループの2018年4月1日から2019年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2018年4月1日から2018年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社めぶきフィナンシャルグループ及び連結子会社の2018年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。

【表紙】

【提出書類】 確認書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の8第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2018年8月9日

【会社名】 株式会社めぶきフィナンシャルグループ

【英訳名】 Mebuki Financial Group, Inc.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 笹島 律夫

【最高財務責任者の役職氏名】 _____

【本店の所在の場所】 東京都中央区八重洲二丁目7番2号

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社取締役社長笹島律夫は、当社の第3期第1四半期（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。